

注3

大学番号：私005

[平成27年度設置]

計画の区分：学部学科設置

注1

認可

日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人日本医療大学
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	学生支援グループ
職名・氏名	オカムラ セイイチロウ 岡村 誠一郎
電話番号	011-885-7711
（夜間）	011-885-7711
F A X	011-885-5757
e-mail	s_okamura@nihoniryo-c.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部(平成◇◇年度より変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学新設の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保健医療学部

＜リハビリテーション学科 理学療法学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	8
4. 既設大学等の状況	9
5. 教員組織の状況	10
6. 留意事項等に対する履行状況等	16
7. その他全般的事項	17

保健医療学部

＜リハビリテーション学科 作業療法学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	19
2. 授業科目の概要	23
3. 施設・設備の整備状況、経費	26
4. 既設大学等の状況	27
5. 教員組織の状況	28
6. 留意事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人日本医療大学

(2) 大学名

日本医療大学

(3) 大学の位置

〒061-1373

北海道恵庭市恵み野西6丁目17番3号

(〒004-0839 北海道札幌市清田区真栄434番地1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツシマ ノリアキ) 対馬 徳昭 (平成5年4月)		
学長	(デンノ リュウイチ) 傳野 隆一 (平成26年4月)		
学部長	(デンノ リュウイチ) 傳野 隆一 (平成26年4月)		
学科長等		(イヌイ キミハル) 乾 公美 (平成27年4月)	(27)設置時は学科長を置いていなかったが、開学に伴い左記の教員を学科長とした。

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻 学士(リハビリテーション学)	4年	40人	-	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	40人	-	0.95倍	-	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
志願者数	-	-	-	-	-	-	-	-	77人	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
受験者数	-	-	-	-	-	-	-	-	76人	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
合格者数	-	-	-	-	-	-	-	-	58人	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
B 入学者数	-	-	-	-	-	-	-	-	38人	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
入学定員超過率 B/A	-		-		-		-		0.95倍				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] 38人	[-] -		
2年次	/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -		
3年次			/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
4年次					/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -
計			[-] -	[-] -			[-] -	[-] -	[-] 38人	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎教育科目	心理学	1前	1									兼1	担当教員の都合により、配当学期を変更
	発達心理学	1後		1								兼1	
	生物学	1前		2								兼1	
	物理学	1後 1前		2								兼1	
	生活科学	1後		1								兼1	
	環境科学	1前		1								兼1	
	生活と運動	1後	1									兼1	
	健康とスポーツ	1後		1								兼1	
	統計学	1後		1								兼1	
	情報科学	1前	1									兼1	
	情報科学演習	1前		1						1		兼1	
	人間発達学	2後	2									兼1	
	倫理学	1前	1									兼1	
	生命倫理	1後	1									兼1	
	哲学	1後		1								兼1	
	論理学	1前		1								兼1	
	宗教と思想	2前		1								兼1	
	人間関係論	1後		1								兼1	
	文化人類学	1後		1								兼1	
	社会学	1後		1								兼1	
	音楽	2後		1								兼1	
	法学	1前		1								兼1	
	教育学	1前		1								兼1	
	北海道史	1前		1								兼1	
	ボランティア活動	2後		1								兼1	
	日本語表現	1前	1									兼1	
	英語 I	1前	1									兼1	
	英語 II	1後	1									兼1	
	英語 III	2前		1								兼1	
	英語 IV	3前		1								兼1	
中国語	1後		1								兼1		
韓国語	2前		1								兼1		
専門基礎教育科目	解剖学	1前	4									兼1	担当教員の都合により、配当学期を変更
	解剖学演習 (骨・筋)	1前	2					1				兼1	
	解剖学演習 (神経)	1後	1									兼1	
	体表解剖学	1前	1									兼1	
	機能解剖学	1後	1					1				兼1	
	生理学	1前	4									兼1	
	生理学演習	2前	1			1		1				兼1	
	運動学	2前	4				1					兼1	
	運動学演習	2後	1			1			3			兼1	
	病理学	1後 1前	2									兼1	
	栄養学	1前		2								兼1	
	臨床心理学	2前		2								兼1	
	カウンセリング論	2後		2								兼1	
	教育心理学	2前		2								兼1	
	内科学	2前	2									兼1	
	整形外科	2前	2									兼1	
	神経内科学	2前	2									兼1	
	精神医学	2後	2									兼1	
	小児科学	2前	1									兼1	
	障害学特論	2後		2								兼3	
リハビリテーション論	1後	2			1						兼4		
チーム医療論	3前	1			1						兼1		
保健医療論	2後		1								兼1		
社会福祉学	1後		1								兼1		
健康政策論	4後		1								兼3		

専 門 教 育 科 目	理学療法概論	1前	1							兼1	
	理学療法概論演習	1後	1							兼1	
	理学療法セミナーⅠ	1後	1			1					H27年3月教員審査中
	理学療法セミナーⅡ	2後	1			1					H27年3月教員審査中
	理学療法セミナーⅢ	3前	1			1					H27年3月教員審査中
	理学療法評価学(運動器系)	2通	1							兼1	教員未定のため変更書提出予定
	理学療法評価学演習(運動器系)	2通	2					1		兼1	
	理学療法評価学(神経系)	2通	1							兼2	
	理学療法評価学演習(神経系)	2通	2							兼2	
	臨床判断学(基礎編)	2後	1								教員未定のため変更書提出予定
	臨床判断学(応用編)	3後	1								教員未定のため変更書提出予定
	運動療法学	2前	1		1						
	運動療法学演習	2後	1				1				
	運動器障害理学療法学	3前	1								教員未定のため変更書提出予定
	運動器障害理学療法学演習	3前	1							兼1	
	神経障害理学療法学	3前	1				1				
	神経障害理学療法学演習	3前	1				1				
	呼吸・循環器障害理学療法学	3前	1		1						
	代謝・免疫系障害理学療法学	3前	1							兼1 兼2	教員追加
	発達障害理学療法学	3後	1				1				
	高齢期障害理学療法学	3後	1		1						
	物理療法学	3前	1		1					兼1	
	物理療法学演習	3前	1		1					兼1	
	義肢装具学	3前	1		1						教員未定のため変更書提出予定
	義肢装具学演習	3前	1		1						教員未定のため変更書提出予定
	日常生活活動基礎学	3前	1				1				H27年3月教員審査中
	神経筋促通治療学	3前	1		1						
	高次脳機能障害学	3後	1							兼1	
	徒手関節治療学	3後	1							兼1	
	スポーツ理学療法学	3後	1							兼1	
	地域理学療法学	3前	1		1			1		兼2	
	生活環境学	3後	1		1						
臨床実習Ⅰ(理学療法)	2後	1		3		4 2	1			27年1月教員審査済	
臨床実習Ⅱ(理学療法)	3後	3		3		2 3	2			27年1月教員審査済	
臨床実習Ⅲ(理学療法)	4前	16		3		2 3	2			27年1月教員審査済	
リハビリテーション管理学	4後	1			1	1					
呼吸リハビリテーション特論	3後	1							兼1		
応急処置法	3前	1							兼1		
軟部組織治療学	3前	1							兼1		
ウィメンズヘルスケア論	3前	1							兼2		
災害リハビリテーション	3前	1		1					兼2		
地域リハビリテーション学	2前	1			1					27年1月教員審査済	
地域リハビリテーション学演習	2前	1					1		兼2		
研究法	3前	1		1							
卒業研究Ⅰ	3後	1		6		4 2	2 3			27年1月教員審査済	
卒業研究Ⅱ	4通	2		6		4 2	2 3			27年1月教員審査済	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
32科目	103科目	0科目	135科目	32科目	103科目	0科目	135科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、「」内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考				
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	日本福祉看護診療放射線学院と共用：収容定員400人 面積基準：なし (借用地) 運動場 20年、13,710㎡ 駐車場、1年更新、3,058㎡				
	校舎敷地	8,886㎡	20,945㎡	0㎡	29,831㎡					
	運動場用地	13,710㎡	0㎡	0㎡	13,710㎡					
	小 計	22,596㎡	20,945㎡	0㎡	43,541㎡					
	そ の 他	3,058㎡	0㎡	0㎡	3,058㎡					
	合 計	25,654㎡	20,945㎡	0㎡	46,599㎡					
(2) 校 舎	専 用	11,175.86㎡	3,179.52㎡	2,463.58㎡	16,818.96㎡	日本福祉看護診療放射線学院と共用：収容定員400人 面積基準：1,480㎡				
		(4,273.46㎡)	(8,386.92㎡)	(4,158.58㎡)	(16,818.93㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	11室	演 習 室	11室	実験実習室	10室	情報処理学習施設	1室	語学学習施設	情報処理室と共用 (補助職員0人)
							(補助職員0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			15 室			
	保健医療学部 リハビリテーション学科									
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	(27) 図書、学術雑誌、機械・器具、標本に変更あり		
		[うち外国書]	[うち外国書]						[うち外国書]	
	冊	種	点	点	点					
	保健医療学部 リハビリテーション学科	9,140 [237] (8,345[163]) -(8,330[157])	2,011 [653] (2,006[646]) -(1,966[633])	8 [8] (8 [8])	61 (61)	960 (961) (960)	30 (32) (30)			
計	9,140 [237] (8,330 [157])	2,011 [653] (1,966 [633])	8 [8] (8 [8])	61 (61)	960 (960)	30 (30)				
(6) 図 書 館	面 積	206.61㎡	閱 覧 座 席 数	50席	収 納 可 能 冊 数	14,640冊				
	面 積	556.1㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要							
(7) 体 育 館	テニスコート1面									
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	(27) 経費の見積り及び資金計画の一部変更	
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	9,994千円 10,102千円	3,000千円	3,000千円		
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	29,520千円 33,438千円	3,383千円 2,000千円	2,000千円			
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	1,300千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	千円	千円				
学生納付金以外の維持方法の概要										

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	日本医療大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員	編入学 定員	収 容 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
保健医療学部 看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.05	平成26年度	北海道札幌市清 田区真栄434番地 1	
リハビリテーション学科 理学療法学専攻	4	40	-	160	学士 (リハビリテーション学)	0.95	平成27年度	北海道恵庭市恵み 野西6丁目17番3号	
リハビリテーション学科 作業療法学専攻	4	40	-	160	学士 (リハビリテーション学)	0.37	平成27年度	北海道恵庭市恵み 野西6丁目17番3号	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<保健医療学部 リハビリテーション学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授(学長)	デンノ リョウイチ 傳野 隆一 (64)	平成27年4月	保健医療論 チーム医療論						変更なし
専	教授	イシキ ミホ 乾 公美	平成27年4月	生理学演習 運動療法学 義肢装具学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授(学科長)	イシキ ミホ 乾 公美	平成27年4月	生理学演習 運動療法学 義肢装具学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	設置時には学科長を置いていなかったが、開学に伴い学科長とした。
専	教授	カハシ ミツヒコ 高橋 光彦	平成27年4月	運動学 運動学演習 物理療法学 物理療法学演習 <small>呼吸・循環器障害理学療法学</small> 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし
専	教授	サトウ ヒロキ 佐藤 秀紀	平成27年4月	リハビリテーション論 地域理学療法学 生活環境学 高齢期障害理学療法学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし
専	教授	イシタ マチ子 坪田 真子	平成27年4月	作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学(運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法学 義肢装具作業療法学演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし
専	教授	サカタ ユウジ 澤田 雄二	平成27年4月	作業療法概論演習 作業療法評価学演習(骨・関節系) 作業療法評価学演習(神経・筋力系) 日常生活適応学(ADL) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし
専	教授	ハタケ タツ夫 八田 達夫	平成28年4月	発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 作業療法セミナーⅡ 作業療法治療学特論(シニヤク) 就労支援作業療法学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし

専	准教授	材料 トミ 大堀 具規	平成29年4月	作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中枢神経障害系) 日常生活適応学(動作 分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管 理学	専	准教授	材料 トミ 大堀 具規	平成28年4月	作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中枢神経障害系) 日常生活適応学(動作 分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管 理学	(27)採用予定年月を1年早めた
				基礎作業学演習(基礎 作業分析) 基礎作業学演習(応用 作業分析) 作業療法セミナーⅠ 運動学演習 地域リハビリテーショ ン学 福祉住環境論 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	准教授	ハカワ ヒロ 早川 宏子	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎 作業分析) 基礎作業学演習(応用 作業分析) 作業療法セミナーⅠ 運動学演習 地域リハビリテーショ ン学 福祉住環境論 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	H27年1月教員審査済み
専	講師	イバシ フキト 石橋 晃仁	平成28年4月	神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演 習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管 理学	専	講師	イバシ フキト 石橋 晃仁	平成27年4月	神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演 習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管 理学 日常生活活動基礎学 理学療法セミナーⅠ 理学療法セミナーⅡ 理学療法セミナーⅢ	採用予定年月を1年早めた。 3科目についてH27年3月変更書提 出(審査中)
専	講師	ヒロ ノブキ 樋室 伸顕	平成29年4月	運動療法学演習 発達障害理学療法学 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし
兼任	講師	ヒロ ノブキ 樋室 伸顕	平成28年4月	運動療法学演習						変更なし
				解剖学演習(骨・筋) 機能解剖学 生理学演習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	イサキ ナ 清田 直恵	平成27年4月	解剖学演習(骨・筋) 機能解剖学 生理学演習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	H27年1月教員審査済み
専	助教	シカゲ フカ 新開谷 深	平成29年4月	体表解剖学 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 情報科学演習						変更なし
兼任	講師	シカゲ フカ 新開谷 深	平成27年4月	体表解剖学 情報科学演習						変更なし
専	助教	キハラ ユリコ 木原 由里子	平成28年4月	理学療法評価学演習 (運動器系) 運動学演習 地域理学療法学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 地域リハビリテーショ ン学演習						変更なし
専	助教	ゴウダ ヒロシ 合田 央志	平成27年4月	作業療法概論演習 運動学演習 作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 作業療法評価学演習 (中枢神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法)						変更なし

専	助教	キヨト ケン 清本 憲太	平成29年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習							変更なし
兼任	講師	キヨト ケン 清本 憲太	平成28年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 運動学演習							変更なし
兼任	教授	オオバ イサ 大久保 岩男	平成28年4月	小児科学	兼任	教授	カハタ 亨 賀来 亨	平成28年4月	小児科学		担当教員変更(兼任)
兼任	教授	モン マサ 門間 正子	平成29年4月	チーム医療論							変更なし
兼任	教授	ハヤシ ミコ 林 美枝子	平成27年4月	文化人類学							変更なし
兼任	准教授	マツモト マユミ 松本 真由美	平成27年4月	心理学 発達心理学							変更なし
兼任	准教授	モリグチ マイ 森口 真衣	平成27年4月	倫理学 生命倫理							変更なし
兼任	准教授	ヤマダ アツシ 山田 敦士	平成27年4月	日本語表現 中国語							変更なし
兼任	講師	オオタ マコト 太田 誠	平成27年4月	理学療法概論 理学療法概論演習 健康政策論							変更なし
兼任	講師	サライチ 林 更科 奈保	平成28年4月	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習 (神経系)							変更なし
兼任	講師	シマズ カル 清水 薫	平成29年4月	代謝・免疫系障害理学療法学							変更なし
兼任	講師	サカグチ トモユキ 坂口 友康	平成28年4月	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習 (神経系)							変更なし
兼任	講師	ソノガ ヨシコ 洪川 佳彦	平成28年4月	理学療法評価学(運動器系) 理学療法評価学演習 (運動器系)							変更なし
兼任	講師	ヤマグチ カズキ 山口 和之	平成30年4月	健康政策論							変更なし
兼任	講師	アサチ アツヒロ 足立 重敬	平成30年4月	健康政策論							変更なし
兼任	講師	ハシハラ リエ 畑原 理恵	平成29年4月	災害リハビリテーション ウィメンズヘルスケア 論							変更なし
兼任	講師	スズキ サトコ 鈴木 聡子	平成29年4月	災害リハビリテーション							変更なし
兼任	講師	スギモト ヒサシ 杉本 寿司	平成29年4月	ウィメンズヘルスケア論							変更なし
兼任	講師	オカダ シゲヒコ 岡田 しげひこ	平成28年4月	チーム医療論 地域リハビリテーション 学演習							変更なし
兼任	講師	コダマ タケヒロ 兒玉 健宏	平成29年4月	地域理学療法学							変更なし
兼任	講師	ハマモト タツヤ 濱本 龍哉	平成29年4月	地域理学療法学							変更なし
兼任	講師	オガタ カズヒロ 小形 和浩	平成28年4月	精神障害作業治療学							変更なし
兼任	講師	ヤマダ サトミ 山田 里見	平成28年4月	作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習(中 枢神経系)							変更なし
兼任	講師	スギモト ノリコ 杉本 典子	平成27年4月	基礎作業学演習(応用 作業分析) 地域作業療法学							変更なし
兼任	講師	イケガ タケヲ 池田 保	平成28年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系)							変更なし
兼任	講師	イトウ カオリ 伊藤 香織	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎作業分析)							変更なし

兼任	講師	カイ マサル 金井 正治	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎作業分析)						変更なし
兼任	講師	ヤジマ トシヒコ 矢嶋 俊彦	平成27年4月	解剖学 解剖学演習(神経)						変更なし
兼任	講師	フクシマ ジュンコ 福島 順子	平成27年4月	生理学						変更なし
兼任	講師	イシトビ ミチコ 石飛 道子	平成27年4月	哲学 論理学 宗教と思想						変更なし
兼任	講師	ナカハシ ヒロユキ 中林 秀和	平成27年4月	生物学						変更なし
兼任	講師	ワダ リュウ 和田 龍彦	平成27年4月	物理学 生活科学 情報科学						変更なし
兼任	講師	イシダ ユキ 石田 ゆき	平成27年4月	教育学 教育心理学 人間関係論						変更なし
兼任	講師	チバ ヒロシ 千葉 卓	平成27年4月	法学口						変更なし
兼任	講師	サキハラ ユウコ 荻原 裕子	平成27年4月	英語 I						変更なし
兼任	講師	ヨシダ マサヒロ 吉田 昌弘	平成27年4月	生活と運動 健康とスポーツ						変更なし
兼任	講師	タカハシ ヨシノブ 高橋 義信	平成27年4月	人間発達学						変更なし
兼任	講師	フジノ ジュンキ 藤野 準己	平成27年4月	病理学	兼任	講師	フジノ ジュンキ 藤野 準己	平成27年4月	病理学	年齢の間違い
兼任	講師	オガサワ ケイコ 岡部 晋彦	平成27年4月	栄養学						変更なし
兼任	講師	コトウ フミエ 近藤 文衛	平成28年4月	内科学						変更なし
兼任	講師	ヤマモト ヤスオ 山本 泰雄	平成28年4月	運動器障害理学療法学 演習 スポーツ理学療法学						変更なし
兼任	講師	ナカノ シュンイチ 那須 俊一	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	ミヤタ ムネル 宮下 宗治	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	コナラ シュウイチ 小寺 秀一	平成28年4月	障害学特論						変更なし
兼任	講師	ハヤシ ヤスヒロ 林 恭裕	平成27年4月	社会福祉学						変更なし
兼任	講師	アサノ ユカ 浅野 友佳子	平成29年4月	高次脳機能障害作業治療学						変更なし
兼任	講師	オノヅカ ヒサシ 鬼塚 久志	平成29年4月	義肢装具作業療法学						変更なし
兼任	講師	ハシ シュンイチ 端 俊一	平成27年4月	統計学口						変更なし
兼任	講師	イシダ ヤスシ 石田 容士	平成28年4月	カウンセリング論 臨床心理学						変更なし
兼任	講師	モリヤ トヨシ 森谷 梨	平成27年4月	環境科学	兼任	講師	フジイ ヒロシ 藤井 博匡	平成27年4月	環境科学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	ヤマシタ コキ 山下 浩紀	平成29年4月	チーム医療論						変更なし
兼任	講師	ウスイ アキラ 薄井 明	平成27年4月	社会学	兼任	教授	ハヤシ ミエコ 林 美枝子	平成27年4月	社会学	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	イマイ ヨシエ 今井 由恵	平成28年4月	音楽						変更なし
兼任	講師	クリト ミズエ 栗本 瑞恵	平成27年4月	北海道史						変更なし
兼任	講師	オウチ タカ 大内 高雄	平成28年4月	ボランティア活動	兼任	講師	オウチ タカ 大内 高雄	平成28年4月	ボランティア活動	氏名の間違い
兼任	講師	ビフ・ブルックリン	平成27年4月	英語 II	兼任	講師	デビッド・フレイ	平成27年4月	英語 II	担当教員変更(兼任)
兼任	講師	アカマ ソウタ 赤間 壮太	平成28年4月	英語 III 英語 IV	兼任	講師	アカマ ソウタ 赤間 莊太	平成28年4月	英語 III 英語 IV	氏名の間違い
兼任	講師	キム チャンギン 金 昌震	平成28年4月	韓国語						変更なし

兼任	講師	フジタ マサノブ 藤田 修靖 (34)	平成29年4月	作業療法治療学特論（行動分析）										変更なし
兼任	講師	イケガヒロシ 池田 官司	平成28年4月	精神医学										変更なし
兼任	講師	サカエ マリ 坂上 真理	平成29年4月	作業療法治療学特論（治療理論）	兼任	講師	サカエ マリ 坂上 真理	平成29年4月	作業療法治療学特論 （治療理論） 高齢期障害作業療法学					担当教員変更（兼任）
兼任	講師	サミヤ コウタ 三宮 孝太	平成29年4月	身体障害作業治療学（運動器・内部障害系）										変更なし
兼任	講師	セリタ カル 芹田 馨	平成29年4月	応急処置法										変更なし
兼任	講師	クニ ケンジ 久野 研二	平成28年4月	地域リハビリテーション学演習※										変更なし
兼任	講師	オヤマ ヨウヘイ 尾山 陽平	平成29年4月	呼吸リハビリテーション特論										変更なし
兼任	講師	ヨコグシ カズトシ 横串 算敏	平成28年4月	整形外科学										変更なし
兼任	講師	スズキ ショウジ 鈴木 昭治	平成28年3月	神経内科学										変更なし
兼任	講師			軟部組織治療学 徒手関節治療学	兼任	講師	ミヤコ シゲノ 宮本 重範	平成29年4月	軟部組織治療学 徒手関節治療学					担当教員変更（兼任）
兼任	講師			高次脳機能障害学	兼任	講師	サイ シンヤ 境 信哉	平成29年4月	高次脳機能障害学					担当教員変更（兼任）
兼任	講師			代謝・免疫系障害理学 療法学	兼任	講師	カチ シンジ 加藤 新司	平成29年4月	代謝・免疫系障害理学 療法学					担当教員追加（兼任）
				理学療法評価学（運動器系） 臨床判断学（基礎編） 臨床判断学（応用編） 運動器障害理学療法学 義肢装具学 義肢装具学演習			後任未定							科目開設時までに変更書提出予定

- (注) ・ 申請書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A0教員審査）を受けてください。**A0教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書（A0）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成（前年度の状況）	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
6人	1人	2人	4人	13人	6人	2人	3人	4人	15人	65歳	4名	—	—
(5人)	(0人)	(0人)	(1人)	(6人)	[0]	[+1]	[+1]	[0]	[+2]				

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 「年齢構成（前年度の状況）」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「—」を記入してください。

該当なし

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年4月)	・専門教育科目における専攻ごとの履修方法について、「教育課程等の概要」の「卒業要件及び履修方法」の欄では必修科目と位置付けられている科目が、「設置の趣旨等を記載した書類」では選択科目と位置付けられているかのように記載され不整合が生じており、学生に混乱を与える可能性がある。そのため、学生が所属専攻ごとに履修すべき科目を適切に選択できるよう、専攻ごとの授業科目の必修・選択の区分を整理した上で、学生に対して丁寧な履修指導を行うこと。	留意事項	(27) 学生が所属専攻ごとに履修すべき科目を適切に選択できるよう、専攻ごとの教育課程進路表を作成し、シラバスに記載し学生に配布。さらに入学生オリエンテーション及び専攻別オリエンテーションにて学生に対し、科目ごとに必修・選択の説明を行い、加えて履修登録の際には、担任教員が立会い指導を行った。
	・運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	留意事項	(27) 恵み野キャンパスの講堂・テニスコートを有効活用するとともに、グラウンド使用の際のキャンパス間移動については学生送迎用のマイクロバスを配置済みである。
	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	留意事項	(27) 経験のある教員については、定年規程の趣旨を踏まえて、再雇用制度を利用するとともに、教員組織編成の将来構想のなかで若手の教員を採用することを検討する。
	・教員の補充を必要とされた32授業科目については、開設時又は科目開講時までに教員を配置すること。うち、専任教員の配置を必要とされた28授業科目については、確実に専任教員を配置すること。	留意事項	(27) 32科目中、兼任教員の4科目については、既に配置済みである。専任教員の28科目について、17科目は、1月の教員審査で既に承認を得ている。また1科目は、同じく1月の教員審査の際に兼任可との返答を得て、既に配置済みである。4科目については、3月に専任教員採用等変更書を提出。残りの6科目については、開講年時までに専任教員採用等変更書を提出予定である。

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療学部 リハビリテーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 入学試験範囲の変更 科目：英語 入学試験範囲：「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」	① 平成25年度高等学校入学生から、新しい高等学校学習指導要領（平成21年告示高等学校学習指導要領）が適用されたことに伴い、従来の入学試験範囲の「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」を平成28年度入学試験から以下のとおり変更する。 「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「英語表現Ⅰ」

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 ・ FD委員会（保健医療学部看護学科と合同で設置） b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ・ 平成27年度の開催は無し、今後は保健医療学部看護学科と合同でFD委員会を開催する。 c 委員会の審議事項等 ・ 今後のFD委員会で検討 ② 実施状況 a 実施内容 ・ 今後のFD委員会で検討 b 実施方法 ・ 今後のFD委員会で検討 c 開催状況（教員の参加状況含む） ・ 今後のFD委員会で検討 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・ 今後のFD委員会で検討 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 ・ 学期毎に実施 前期：6～7月 後期：11～12月 b 教員や学生への公開状況、方法等 ・ 教員及び学生への公開を行う。 前期分：9月 後期分：4月

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
 - ・平成27年5月1日現在、自己点検評価委員会の開催はなし。今後開催する予定。
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
 - ・未定
 - b 公表方法
 - ・検討中
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)
 - b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ()

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人日本医療大学

(2) 大学名

日本医療大学

(3) 大学の位置

〒061-1373

北海道恵庭市恵み野西6丁目17番3号

(〒004-0839 北海道札幌市清田区真栄434番地1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツシマ ノリアキ) 対馬徳昭 (平成5年4月)		
学長	(デンノ リュウイチ) 傳野隆一 (平成26年4月)		
学部長	(デンノ リュウイチ) 傳野隆一 (平成26年4月)		
学科長等		(イヌイ キミハル) 乾 公美 (平成27年4月)	(27)設置時は学科長を置いていなかったが、開学に伴い左記の教員を学科長とした。

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)
 平成27年度に報告する内容 → (27)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法専攻 学士(リハビリテーション学)	4年	40人	-	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	40人	-	0.37倍	-	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
志願者数	-	-	-	-	-	-	22人	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
受験者数	-	-	-	-	-	-	22人	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
合格者数	-	-	-	-	-	-	24人	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
B 入学者数	-	-	-	-	-	-	15人	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
入学定員超過率 B/A	-		-		-		0.37倍				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] 15人	[-] -		
2年次	/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -		
3年次			/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
4年次					/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -
計			[-] -	[-] -			[-] -	[-] -	[-] 15人	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	- 人	- 人	平成24年度	- 人	- 人	-	- %
			平成25年度	- 人	- 人	-	
			平成26年度	- 人	- 人	-	
			平成27年度	- 人	- 人	-	
平成25年度 入学者	- 人	- 人	平成25年度	- 人	- 人	-	- %
			平成26年度	- 人	- 人	-	
			平成27年度	- 人	- 人	-	
平成26年度 入学者	- 人	- 人	平成26年度	- 人	- 人	-	- %
			平成27年度	- 人	- 人	-	
平成27年度 入学者	15 人	0 人	平成27年度	0 人	- 人	-	0 %
合 計	15 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	心理学	1前	1								兼1	担当教員の都合により、配当学期を変更
	発達心理学	1後		1							兼1	
	生物学	1前		2							兼1	
	物理学	1後 1前		2							兼1	
	生活科学	1後		1							兼1	
	環境科学	1前		1							兼1	
	生活と運動	1後	1								兼1	
	健康とスポーツ	1後		1							兼1	
	統計学	1後		1							兼1	
	情報科学	1前	1								兼1	
	情報科学演習	1前		1					1		兼1	
	人間発達学	2後	2								兼1	
	倫理学	1前	1								兼1	
	生命倫理	1後	1								兼1	
	哲学	1後		1							兼1	
	論理学	1前		1							兼1	
	宗教と思想	2前		1							兼1	
	人間関係論	1後		1							兼1	
	文化人類学	1後		1							兼1	
	社会学	1後		1							兼1	
	音楽	2後		1							兼1	
	法学	1前		1							兼1	
	教育学	1前		1							兼1	
	北海道史	1前		1							兼1	
	ボランティア活動	2後		1							兼1	
	日本語表現	1前	1								兼1	
英語 I	1前	1								兼1		
英語 II	1後	1								兼1		
英語 III	2前		1							兼1		
英語 IV	3前		1							兼1		
中国語	1後		1							兼1		
韓国語	2前		1							兼1		
専門基礎教育科目	解剖学	1前	4								兼1	27年1月教員審査済
	解剖学演習 (骨・筋)	1前	2					1			兼1	
	解剖学演習 (神経)	1後	1								兼1	
	体表解剖学	1前	1								兼1	
	機能解剖学	1後	1					1			兼1	
	生理学	1前	4								兼1	
	生理学演習	2前	1			1		1			兼1	
	運動学	2前	4			1					兼1	
	運動学演習	2後	1			1			3		兼1	
	病理学	1後 1前	2								兼1	
	栄養学	1前		2							兼1	
	臨床心理学	2前		2							兼1	
	カウンセリング論	2後		2							兼1	
	教育心理学	2前		2							兼1	
	内科学	2前	2								兼1	
	整形外科	2前	2								兼1	
	神経内科学	2前	2								兼1	
	精神医学	2後	2								兼1	
	小児科学	2前	1								兼1	
	障害学特論	2後		2							兼3	
リハビリテーション論	1後	2			1					兼4		
チーム医療論	3前	1			1					兼1		
保健医療論	2後		1							兼1		
社会福祉学	1後		1							兼1		
健康政策論	4後		1							兼3		

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考				
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	日本福祉看護診療放射線学院と共用：収容定員400人 面積基準：なし (借用地) 運動場 20年、13,710㎡ 駐車場、1年更新、3,058㎡				
	校舎敷地	8,886㎡	20,945㎡	0㎡	29,831㎡					
	運動場用地	13,710㎡	0㎡	0㎡	13,710㎡					
	小 計	22,596㎡	20,945㎡	0㎡	43,541㎡					
	そ の 他	3,058㎡	0㎡	0㎡	3,058㎡					
	合 計	25,654㎡	20,945㎡	0㎡	46,599㎡					
(2) 校 舎	専 用	11,175.86㎡	3,179.52㎡	2,463.58㎡	16,818.96㎡	日本福祉看護診療放射線学院と共用：収容定員400人 面積基準：1,480㎡				
	(4,273.46㎡)	(8,386.92㎡)	(4,158.58㎡)	(16,818.93㎡)						
(3) 教 室 等	講 義 室	11室	演 習 室	11室	実験実習室	10室	情報処理学習施設	1室	語学学習施設	情報処理室と共用 (補助職員0人)
							(補助職員0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数						
	保健医療学部 リハビリテーション学科			15 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	(27) 図書、学術雑誌、 機械・器具、標本に変更あり		
	保健医療学部 リハビリテーション学科	9,140 [237] (8,345[163]) -(8,330[157])	2,011 [653] (2,006[646]) -(1,966[633])	8 [8] (8 [8])	61 (61)	960 (961) (960)	30 (32) (30)			
	計	9,140 [237] (8,330 [157])	2,011 [653] (1,966 [633])	8 [8] (8 [8])	61 (61)	960 (960)	30 (30)			
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数						
	206.61㎡	50席		14,640冊						
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要								
	556.1㎡	テニスコート1面								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	(27) 経費の見積り及び 資金計画の一部変更	
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	9,994千円 10,102千円	3,000千円	3,000千円		
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	29,520千円 33,438千円	3,383千円 2,000千円	2,000千円			
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		1,300千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要										

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	日本医療大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
保健医療学部	年	人	年次人	人		倍			
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.05	平成26年度	北海道札幌市清田区真栄434番地1	
リハビリテーション学科 理学療法学専攻	4	40	-	160	学士 (リハビリテーション学)	0.95	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6丁目17番3号	
リハビリテーション学科 作業療法学専攻	4	40	-	160	学士 (リハビリテーション学)	0.37	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6丁目17番3号	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<保健医療学部 リハビリテーション学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授(学長)	デンノ リョウイチ 傳野 隆一	平成27年4月	保健医療論 チーム医療論						変更なし
専	教授	イシキ ミル 乾 公美	平成27年4月	生理学演習 運動療法学 義肢装具学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授(学科長)	イシキ ミル 乾 公美	平成27年4月	生理学演習 運動療法学 義肢装具学 義肢装具学演習 神経筋促進治療学 研究法 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	設置時には学科長を置いていなかったが、開学に伴い学科長とした。
専	教授	カハシ ミツコ 高橋 光彦	平成27年4月	運動学 運動学演習 物理療法学 物理療法学演習 <small>呼吸・循環器障害理学療法学</small> 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし
専	教授	サトウ ヒロキ 佐藤 秀紀	平成27年4月	リハビリテーション論 地域理学療法学 生活環境学 高齢期障害理学療法学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし
専	教授	イシタ マコ 坪田 真子	平成27年4月	作業療法概論 作業療法評価学 チーム医療論 身体障害作業治療学(運動器・内部障害系) 義肢装具作業療法学 義肢装具作業療法学演習 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし
専	教授	サカタ ユウジ 澤田 雄二	平成27年4月	作業療法概論演習 作業療法評価学演習(骨・関節系) 作業療法評価学演習(神経・筋力系) 日常生活適応学(ADL) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし
専	教授	ハタケ タツ夫 八田 達夫	平成28年4月	発達障害作業治療学 福祉用具学 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 作業療法セミナーⅡ 作業療法治療学特論(シニヤク) 就労支援作業療法学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし

専	准教授	材料 トミ 大堀 具規	平成29年4月	作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中枢神経障害系) 日常生活適応学(動作 分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管 理学	専	准教授	材料 トミ 大堀 具規	平成28年4月	作業療法セミナーⅢ 身体障害作業治療学 (中枢神経障害系) 日常生活適応学(動作 分析) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管 理学	(27)採用予定年月を1年早めた
				基礎作業学演習(基礎 作業分析) 基礎作業学演習(応用 作業分析) 作業療法セミナーⅠ 運動学演習 地域リハビリテーショ ン学 福祉住環境論 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	准教授	ハカワ ヒロ 早川 宏子	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎 作業分析) 基礎作業学演習(応用 作業分析) 作業療法セミナーⅠ 運動学演習 地域リハビリテーショ ン学 福祉住環境論 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	H27年1月教員審査済み
専	講師	イバシ 7キト 石橋 晃仁	平成28年4月	神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演 習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管 理学	専	講師	イバシ 7キト 石橋 晃仁	平成27年4月	神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演 習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ リハビリテーション管 理学 日常生活活動基礎学 理学療法セミナーⅠ 理学療法セミナーⅡ 理学療法セミナーⅢ	採用予定年月を1年早めた。 3科目についてH27年3月変更書提 出(審査中)
専	講師	ヒロ ノブキ 樋室 伸顕	平成29年4月	運動療法学演習 発達障害理学療法学 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						変更なし
兼任	講師	ヒロ ノブキ 樋室 伸顕	平成28年4月	運動療法学演習						変更なし
				解剖学演習(骨・筋) 機能解剖学 生理学演習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	講師	ササ ナヒ 清田 直恵	平成27年4月	解剖学演習(骨・筋) 機能解剖学 生理学演習 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	H27年1月教員審査済み
専	助教	シカゲ フカ 新開谷 深	平成29年4月	体表解剖学 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 情報科学演習						変更なし
兼任	講師	シカゲ フカ 新開谷 深	平成27年4月	体表解剖学 情報科学演習						変更なし
専	助教	キハラ ユリコ 木原 由里子	平成28年4月	理学療法評価学演習 (運動器系) 運動学演習 地域理学療法学 臨床実習Ⅰ(理学療法) 臨床実習Ⅱ(理学療法) 臨床実習Ⅲ(理学療法) 地域リハ「リ」ン学演 習						変更なし
専	助教	ゴウダ ヒロシ 合田 央志	平成27年4月	作業療法概論演習 運動学演習 作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 作業療法評価学演習 (中枢神経系) 臨床実習Ⅰ(作業療法) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法)						変更なし

専	助教	キヨト ケン 清本 憲太	平成29年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 臨床実習Ⅱ(作業療法) 臨床実習Ⅲ(作業療法) 運動学演習							変更なし	
兼任	講師	キヨト ケン 清本 憲太	平成28年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系) 運動学演習								変更なし
兼任	教授	オオバ イサ 大久保 岩男	平成28年4月	小児科学	兼任	教授	カトウ 賀来 亨	平成28年4月	小児科学			担当教員変更(兼任)
兼任	教授	モン マサ 門間 正子	平成29年4月	チーム医療論								変更なし
兼任	教授	ハヤシ ミコ 林 美枝子	平成27年4月	文化人類学								変更なし
兼任	准教授	マツモト マユミ 松本 真由美	平成27年4月	心理学 発達心理学								変更なし
兼任	准教授	モリグチ マイ 森口 真衣	平成27年4月	倫理学 生命倫理								変更なし
兼任	准教授	ヤマダ アツシ 山田 敦士	平成27年4月	日本語表現 中国語								変更なし
兼任	講師	オオタ マコト 太田 誠	平成27年4月	理学療法概論 理学療法概論演習 健康政策論								変更なし
兼任	講師	サライチ 林 更科 奈保	平成28年4月	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習 (神経系)								変更なし
兼任	講師	シズカ カル 清水 薫	平成29年4月	代謝・免疫系障害理学療法								変更なし
兼任	講師	サカグチ トモユキ 坂口 友康	平成28年4月	理学療法評価学(神経系) 理学療法評価学演習 (神経系)								変更なし
兼任	講師	ソノガ ヨシコ 洪川 佳彦	平成28年4月	理学療法評価学(運動器系) 理学療法評価学演習 (運動器系)								変更なし
兼任	講師	ヤマグチ カズキ 山口 和之	平成30年4月	健康政策論								変更なし
兼任	講師	アサヒ アツヒロ 足立 重敬	平成30年4月	健康政策論								変更なし
兼任	講師	ハシハラ リエ 畑原 理恵	平成29年4月	災害リハビリテーション ウィメンズヘルスケア 論								変更なし
兼任	講師	スズキ サトコ 鈴木 聡子	平成29年4月	災害リハビリテーション								変更なし
兼任	講師	スギモト ヒサシ 杉本 寿司	平成29年4月	ウィメンズヘルスケア論								変更なし
兼任	講師	オカダ シゲヒコ 岡田 しげひこ	平成28年4月	チーム医療論 地域リハビリテーション 学演習								変更なし
兼任	講師	コダマ タケヒロ 兒玉 健宏	平成29年4月	地域理学療法								変更なし
兼任	講師	ハマモト タツ子 濱本 龍哉	平成29年4月	地域理学療法								変更なし
兼任	講師	オガタ カズヒロ 小形 和浩	平成28年4月	精神障害作業治療学								変更なし
兼任	講師	ヤマダ サトミ 山田 里見	平成28年4月	作業療法評価学演習 (基礎評価) 作業療法評価学演習(中 枢神経系)								変更なし
兼任	講師	スギモト ノリコ 杉本 典子	平成27年4月	基礎作業学演習(応用 作業分析) 地域作業療法								変更なし
兼任	講師	イケガ タケヲ 池田 保	平成28年4月	作業療法評価学演習 (骨・関節系) 作業療法評価学演習 (神経・筋力系)								変更なし
兼任	講師	イトウ カオリ 伊藤 香織	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎作業分析)								変更なし

兼任	講師	カイ マサル 金井 正治	平成27年4月	基礎作業学演習(基礎作業分析)							変更なし
兼任	講師	ヤマ トシヒコ 矢嶋 俊彦	平成27年4月	解剖学 解剖学演習(神経)							変更なし
兼任	講師	フクシマ ジュンコ 福島 順子	平成27年4月	生理学							変更なし
兼任	講師	イシトビ ミチコ 石飛 道子	平成27年4月	哲学 論理学 宗教と思想							変更なし
兼任	講師	ナカハシ ヒデノブ 中林 秀和	平成27年4月	生物学							変更なし
兼任	講師	ワタ ナリヒコ 和田 龍彦	平成27年4月	物理学 生活科学 情報科学							変更なし
兼任	講師	イシダ ユキ 石田 ゆき	平成27年4月	教育学 教育心理学 人間関係論							変更なし
兼任	講師	チバ タカシ 千葉 卓	平成27年4月	法学口							変更なし
兼任	講師	サキハラ ユウコ 萩原 裕子	平成27年4月	英語 I							変更なし
兼任	講師	ヨシダ マサヒロ 吉田 昌弘	平成27年4月	生活と運動 健康とスポーツ							変更なし
兼任	講師	タカハシ ヨシノブ 高橋 義信	平成27年4月	人間発達学							変更なし
兼任	講師	フジノ ジュンキ 藤野 準己	平成27年4月	病理学	兼任	講師	フジノ ジュンキ 藤野 準己	平成27年4月	病理学		年齢の間違い
兼任	講師	オガサワ ケイコ 岡部 晋彦	平成27年4月	栄養学							変更なし
兼任	講師	コトウ フミエ 近藤 文衛	平成28年4月	内科学							変更なし
兼任	講師	ヤマモト ヤスオ 山本 泰雄	平成28年4月	運動器障害理学療法学 演習 スポーツ理学療法学							変更なし
兼任	講師	ナカノ シュンイチ 那須 俊一	平成28年4月	障害学特論							変更なし
兼任	講師	ミヤタ ムネヒル 宮下 宗治	平成28年4月	障害学特論							変更なし
兼任	講師	コナラ シュウイチ 小寺 秀一	平成28年4月	障害学特論							変更なし
兼任	講師	ハヤシ ヤスヒロ 林 恭裕	平成27年4月	社会福祉学							変更なし
兼任	講師	アサノ ユカコ 浅野 友佳子	平成29年4月	高次脳機能障害作業治療学							変更なし
兼任	講師	オノヅカ ヒサシ 鬼塚 久志	平成29年4月	義肢装具作業療法学							変更なし
兼任	講師	ハシ シュンイチ 端 俊一	平成27年4月	統計学口							変更なし
兼任	講師	イシダ ヤスシ 石田 容士	平成28年4月	カウンセリング論 臨床心理学							変更なし
兼任	講師	モリヤ トヨシ 森谷 梨	平成27年4月	環境科学	兼任	講師	フジイ ヒロシ 藤井 博匡	平成27年4月	環境科学		担当教員変更(兼任)
兼任	講師	ヤマシタ コタキ 山下 浩紀	平成29年4月	チーム医療論							変更なし
兼任	講師	ウスイ アキラ 薄井 明	平成27年4月	社会学	兼任	教授	ハヤシ ミエコ 林 美枝子	平成27年4月	社会学		担当教員変更(兼任)
兼任	講師	イマイ ヨシエ 今井 由恵	平成28年4月	音楽							変更なし
兼任	講師	クリモト ミズエ 栗本 瑞恵	平成27年4月	北海道史							変更なし
兼任	講師	オウチ タカ 大内 高雄	平成28年4月	ボランティア活動	兼任	講師	オウチ タカ 大内 高雄	平成28年4月	ボランティア活動		氏名の間違い
兼任	講師	ビフ・ブルックリン	平成27年4月	英語 II	兼任	講師	デビッド・フレイ	平成27年4月	英語 II		担当教員変更(兼任)
兼任	講師	アカマ ソウタ 赤間 壮太	平成28年4月	英語 III 英語 IV	兼任	講師	アカマ ソウタ 赤間 莊太	平成28年4月	英語 III 英語 IV		氏名の間違い
兼任	講師	キム チャンギン 金 昌震	平成28年4月	韓国語							変更なし

兼任	講師	フジタ マサノブ 藤田 修靖	平成29年4月	作業療法治療学特論（行動分析）											変更なし
兼任	講師	イケガ ヒロシ 池田 官司	平成28年4月	精神医学											変更なし
兼任	講師	サカエ マリ 坂上 真理	平成29年4月	作業療法治療学特論（治療理論）	兼任	講師	サカエ マリ 坂上 真理	平成29年4月	作業療法治療学特論（治療理論） 高齢期障害作業療法学						担当教員変更（兼任）
兼任	講師	サミヤ コウタ 三宮 孝太	平成29年4月	身体障害作業治療学（運動器・内部障害系）											変更なし
兼任	講師	セリタ カル 芹田 馨	平成29年4月	応急処置法											変更なし
兼任	講師	クニ ケンジ 久野 研二	平成28年4月	地域リハビリテーション学演習※											変更なし
兼任	講師	オヤマ ヨウヘイ 尾山 陽平	平成29年4月	呼吸リハビリテーション特論											変更なし
兼任	講師	ヨコグシ カズトシ 横串 算敏	平成28年4月	整形外科学											変更なし
兼任	講師	スズキ ショウジ 鈴木 昭治	平成28年3月	神経内科学											変更なし
兼任	講師			軟部組織治療学 徒手関節治療学	兼任	講師	ミヤモト シゲノリ 宮本 重範	平成29年4月	軟部組織治療学 徒手関節治療学						担当教員変更（兼任）
兼任	講師			高次脳機能障害学	兼任	講師	サイ シンヤ 境 信哉	平成29年4月	高次脳機能障害学						担当教員変更（兼任）
兼任	講師			代謝・免疫系障害理学療法学	兼任	講師	カチ シンジ 加藤 新司	平成29年4月	代謝・免疫系障害理学療法学						担当教員追加（兼任）
				理学療法評価学（運動器系） 臨床判断学（基礎編） 臨床判断学（応用編） 運動器障害理学療法学 義肢装具学 義肢装具学演習			後任未定								科目開設時までに変更書提出予定

- (注) ・ 申請書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A0教員審査）を受けてください。A0教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成（前年度の状況）	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
6人	1人	2人	4人	13人	6人	2人	3人	4人	15人	65歳	4名	—	—
(5人)	(0人)	(0人)	(1人)	(6人)	[0]	[+1]	[+1]	[0]	[+2]				

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 「年齢構成（前年度の状況）」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「—」を記入してください。

該当なし

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年4月)	・専門教育科目における専攻ごとの履修方法について、「教育課程等の概要」の「卒業要件及び履修方法」の欄では必修科目と位置付けられている科目が、「設置の趣旨等を記載した書類」では選択科目と位置付けられているかのように記載され不整合が生じており、学生に混乱を与える可能性がある。そのため、学生が所属専攻ごとに履修すべき科目を適切に選択できるよう、専攻ごとの授業科目の必修・選択の区分を整理した上で、学生に対して丁寧な履修指導を行うこと。	留意事項	(27) 学生が所属専攻ごとに履修すべき科目を適切に選択できるよう、専攻ごとの教育課程進路表を作成し、シラバスに記載し学生に配布。さらに入学生オリエンテーション及び専攻別オリエンテーションにて学生に対し、科目ごとに必修・選択の説明を行い、加えて履修登録の際には、担任教員が立会い指導を行った。
	・運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	留意事項	(27) 恵み野キャンパスの講堂・テニスコートを有効活用するとともに、グラウンド使用の際のキャンパス間移動については学生送迎用のマイクロバスを配置済みである。
	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	留意事項	(27) 経験のある教員については、定年規程の趣旨を踏まえて、再雇用制度を利用するとともに、教員組織編成の将来構想のなかで若手の教員を採用することを検討する。
	・教員の補充を必要とされた32授業科目については、開設時又は科目開講時までに教員を配置すること。うち、専任教員の配置を必要とされた28授業科目については、確実に専任教員を配置すること。	留意事項	(27) 32科目中、兼任教員の4科目については、既に配置済みである。専任教員の28科目について、17科目は、1月の教員審査で既に承認を得ている。また1科目は、同じく1月の教員審査の際に兼任可との返答を得て、既に配置済みである。4科目については、3月に専任教員採用等変更書を提出。残りの6科目については、開講年時までに専任教員採用等変更書を提出予定である。

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療学部 リハビリテーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 入学試験範囲の変更 科目：英語 入学試験範囲：「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」	① 平成25年度高等学校入学生から、新しい高等学校学習指導要領（平成21年告示高等学校学習指導要領）が適用されたことに伴い、従来の入学試験範囲の「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」を平成28年度入学試験から以下のとおり変更する。 「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「英語表現Ⅰ」

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 <ul style="list-style-type: none"> a 委員会の設置状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ FD委員会（保健医療学部看護学科と合同で設置） b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度の開催は無し、今後は保健医療学部看護学科と合同でFD委員会を開催する。 c 委員会の審議事項等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後のFD委員会で検討 ② 実施状況 <ul style="list-style-type: none"> a 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後のFD委員会で検討 b 実施方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後のFD委員会で検討 c 開催状況（教員の参加状況含む） <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後のFD委員会で検討 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後のFD委員会で検討 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 <ul style="list-style-type: none"> a 実施の有無及び実施時期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学期毎に実施 前期：6～7月 後期：11～12月 b 教員や学生への公開状況、方法等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員及び学生への公開を行う。 前期分：9月 後期分：4月
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
 - ・平成27年5月1日現在、自己点検評価委員会の開催はなし。今後開催する予定。
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
 - ・未定
 - b 公表方法
 - ・検討中
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)
 - b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成27年6月)